

CONTENTS

● 「2011楽器フェア」 AMEIイベント開催報告	1~3
● 第10回SYNTHESIZER FESTA2011/MIDI検定試験の改定について	4~5
● MIDI規格国際標準化に関するIECメルボルン総会報告	5
● 著作権・ソフト委員会 音楽電子出版部会セミナー開催報告	6
● CDCおよびFluzoシステムの現状について/一般社団法人移行認可報告	7
● AMEI会員名簿・MIDI検定1級・2級2次試験開催のお知らせ	8

2011楽器フェア AMEIイベント開催報告



平成23年は、日本における観測史上最大規模の東日本大震災が発生し、津波・原発事故も伴って大きな被害をもたらしました。また、タイの記録的大洪水や、EUの経済危機等、世界各国でも様々な出来事が起こり、AMEIの会員企業様にとりましても激動の年となりました。が、「こんな時こそ、日本を元気に!・がんばろう日本」等のキーワードが各地で聞かれるようになり、AMEIにおきましても、5月の総会での会長の挨拶「音楽を通して、支援・復興を」との表明を受け、各種イベントを実施・参加しました。

平成23年10月8日・10月9日の2日間、ミュージッククリエイターの祭典Synthesizer Festa 2011が日本シンセサイザー・プログラマー協会の主催、音楽電子事業協会の協力により、去年に引き続き西新宿芸術花伝舎にて開催されました。AMEI会員企業各社の展示・イベントに加え、AMEIセミナーとしてMIDI検定4級・3級・2級・1級セミナーを実施いたしました。

平成23年11月3日より11月6日まで4日間にわたって「2011楽器フェア」がパシフィコ横浜で開催され、一般入場者24,837人+業界関係者3,100人と、規模は縮小されたにも拘らず、2009年同様の来場者で賑わいました。

今回AMEIとしては、前回に引き続き展示ホールE204(99平米)でのAMEI会員各社のイベントを4日間通して実施、音楽愛好家の関心を集めました。また、楽器フェア初日にはE204展示ホールにて、MIDI検定委員会より、時代の変化に対応する為MIDI認定制度のあり方を見直し、MIDIにオーディオやDAW等の知識を加え、現代の音楽制作に対応した次期教育プログラムの概要及びミュージッククリエイターの為のDAW総合書籍となる次期ガイドブックの内容を発表・紹介しました。

2011楽器フェア AMEIイベント

「2011楽器フェア」は11月3日から6日までの4日間、パシフィコ横浜で開催されました。事業委員会では音楽・楽器愛好者が集う「2011楽器フェア」の場において、AMEI会員企業の取り扱う商品・ソフトの楽しさを体験してもらい、音楽電子人口増に結びつけるとともに、会員企業の活動に役立てる事を目的とし、セミナーを会場内の会議室にて連日実施致しました。また、ブースではAMEIの委員会・部会活動の内容や、イベントのスケジュール・内容等を紹介、特設ホームページも開設し、イベント告知等を行いました。<http://www.amei.or.jp/musicfair2011/indexmfair2011.html>

MIDI検定セミナーでは来年度より改訂する学習内容の概要、新たに出版するガイドブックの説明を行いました。会場ではMIDI検定委員会 大浜委員長より、MIDIを活用できる人材育成を目的にスタートしたMIDI検定が、今後はオーディオを含む現代の音楽制作事情に合わせ、広くミュージッククリエイターの育成を目標に学習内容を改訂する主旨の説明がありました。MIDI検定の名称はそのままに、今までの各級の構成も引き継いでいます。また現在までの合格者への資格も同様に継続します。

新ガイドブック「ミュージック クリエイター ハンドブック (MIDI検定公式ガイド)」の特徴、内容項目については、副委員長の上杉氏より説明がありました。リニューアルされる内容は現在までのMIDI検定3級、2級に相当する内容を踏襲し、1級の作品制作に至る最新の知識が盛り込まれています。各章は音の仕組みから音楽制作のプロセスなど一般の方にも分かり易いDAWの基礎知識から、MIDI、音響学、オーディオ、音楽とMIDI、リリース、著作権、とクリエイターに必要とされる専門知識まで、これ一冊で現代の音楽制作法が解るよう構成されています。次世代のMIDI検定の柱となる学習内容の改訂に音楽指導者を含め関係各位の期待が高まっています。



ビデオキャンバス・SONAR X1 セミナー 岡崎 充良氏



MIDI検定セミナー 上杉 尚史氏/大浜 和史氏



VOCALOID3セミナー 剣持 秀紀氏



ギターインストラック制作 セミナー ぎんじねこ氏

■2011AMEIイベント参加・協力企業

株式会社インターネット
カシオ計算機株式会社
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
株式会社コルグ
学校法人尚美学園
株式会社シンクパワー
日本シンセサイザープログラマー協会
ヤマハ株式会社
ローランド株式会社



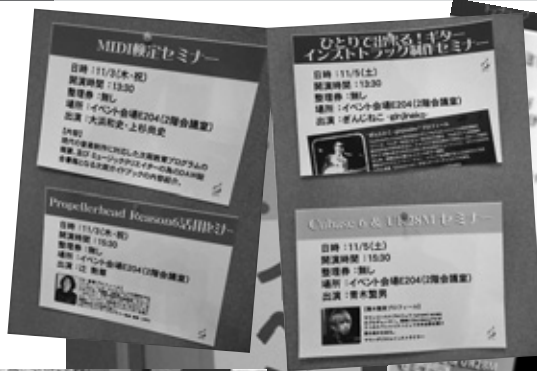
Reason6活用セミナー 辻 敦尊氏



Cubase6 & UR28Mセミナー 青木 繁男氏



iPad/iPhone/スマホミュージックツールセミナー 古山 俊一氏 / 岡 理奈氏



AMEI 2011楽器フェア出展のご案内

トップページ
TopPage

楽器フェアへ
MusicFair

音楽電子事業協会
AMEI

会場へのアクセス
Access

お問合せ
Contact US

MIDI校正セミナー

Propellerhead Reason6活用セミナー

ビデオ・カメラ・DV・7Gカメラの
プロモビデオを撮る方法

**Cakewalk SONAR X1
セミナー**

**VOCALOID3
はじめよう！
あなたもプロに！**

**ひとりで出来る！
キーボード・トラックメイ
キングセミナー**

**Cubase 6 & UR28M
セミナー**

**SSW9 Professional
Meets
VOCALOID3 Megpoid**

**iPad/iPhone/スマホを
ミュージックツールに
しよう！**

AMEI EVENT イベント会場E204 (2階会議室)

時間	タイトル	出演	内容
11月3日 (木)	13:30開演 <u>MIDI校正セミナー</u>	大浜和史 上杉尚史	現代の音楽制作に対応した次期教育プログラムの概要、及びミュージッククリエイターのためのDAW総合書籍となる次期ガイドブックの内容を紹介いたします。
	15:30開演 <u>Propellerhead Reason6活用セミナー</u>	辻 敦博	Reason6を使って楽曲をその場で完成！ Reason6に搭載された新機能を音楽制作のステップに沿って詳しく紹介いたします。
11月4日 (金)	13:30開演 <u>ビデオ・カメラ・DV・7Gカメラの プロモビデオを撮ろう！ あなたもプロに！</u>	岡崎充典	ビデオ・カメラ・DV・7Gは、映像編集ソフトとエディター、そして「プロ」向けのカメラ・カメラ・カメラ。プロのオリジナル曲にデジタルビデオカメラで撮った静止画や動画を組み合わせ、手軽にオリジナルムービー・ビデオが作れます。
	15:30開演 <u>Cakewalk SONAR X1 セミナー</u>	岡崎充典	レコーディングから編集、ミックス、マスタリングに至るまで、音楽制作に必要な機能がすべて網羅されたSONAR X1。当セミナーでは、そのSONAR X1を活用した曲作りをわかりやすく解説します。
11月5日 (土)	11:30開演 <u>VOCALOID3で はじめよう！ あなたもプロに！</u>	剣持秀紀	ホー・加作の新しいバージョンVOCALOID3が10/21に発売される！ このセミナーではVOCALOID3の新機能を余すことなく紹介。
	13:30開演 <u>ひとりで出来る！ キーボード・トラックメイ キングセミナー</u>	ぎんじねこ -ginjineko-	キリストが自宅でひとりでキーボード曲を作る方法を解説するセミナー。YouTubeの再生回数400万回以上を誇る注目の絶叫ネットキリスト「ぎんじねこ-ginjineko-」氏がトラムソフト音源のEZdrummerやベース音源などを駆使し、キーボード曲を制作する方法を直伝。
	15:30開演 <u>Cubase 6 & UR28M セミナー</u>	青木繁男	最先端の音楽制作ソフトウェア「Cubase 6」と最新のオーディオインターフェース「UR28M」、様々なソフトシンセサイザーを用いたトラックメイキング術をご紹介します。
11月6日	11:30開演 <u>SSW9 Professional Meets VOCALOID3 Megpoid</u>	小川悦司	DTMマガジン等でもおなじみの小川悦司氏が「Singer Song Writer Professional」と話題の新製品「VOCALOID3 Megpoid」のリアルな歌声を組み合わせる音楽制作をするスペシャルセミナーです。
	13:30開演 <u>iPad/iPhone/スマホを ミュージックツールに しよう！</u>	古山 俊一	iPadの音楽系アプリ紹介やスマートフォンでプロの歌が出せる音楽プレイヤー・同期取り合わせできるサービス等、今年登場した多機能携帯端末による最新の音楽アプリの紹介とその使い方を徹底解説。

※混雑状況によってはお立ち見になる場合がございます。

※また、会場が満員の場合は入場をお断りする場合もありますので御了承下さい。



フェア初日から展示ブースへの来場者は多かったのですが、セミナー会場は2階の為、最初はちょっと覗いて帰られる方もいましたが、どのセミナーも後半にはほぼ席も埋まり盛況なセミナーとなりました。受講された皆さんには、音楽ツールの進化や音楽制作について理解を深めていただけたことができました。

Synthesizer Festa 2011

SYNTHESIZER FESTA 2011 実施報告

MIDI検定委員会 事業委員会 大浜 和史

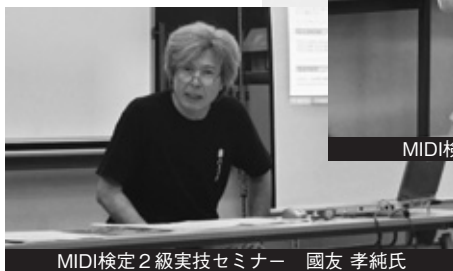
日本シンセサイザー・プログラマー協会の主催するシンセサイザーフェスタは「ミュージッククリエイターの祭典」をサブタイトルとして、電子楽器と音楽の普及を目的に2002年より実施し今年10回目となりました。日本の芸能研修活動の拠点となる西新宿の芸能花伝舎の創造スペースを会場に10月8日9日の二日間実施しました。芸団協、新宿区に後援を頂き、会場には子供から専門家に至る幅広い層の来場を頂きました。天候にも恵まれ二日間の来場者数は同時開催の大阪会場も含め1000名となりました。

小学校跡の施設を利用する会場は、教室で行うセミナー、体育館の展示コーナー、スタジオのイベントで構成しています。セミナーはAMEI協力のMIDI検定各級の講座を始め出展社の新商品説明、日本作編曲家協会とのコラボレーション、主催者企画など盛り沢山。イベント「富田勲の世界」では富田先生にご出演頂き、作品、音創りについてお話を頂きました。キーボードサミット「鍵盤楽器はこう弾け！」は向谷実氏と共に若手の園田涼が加わり賑やかに技の披露を繰り広げました。DAWマイスターコンテストの審査発表では各応募作品の評価と優秀賞の発表、賞品の授与が行われました。

有料販売とした会場案内パンフレットの収益は、東日本大震災への支援活動を行なう団体「こどもの音楽再生基金」を通じて子供達に向けた支援金に充てることができました。また新宿区の文化普及活動「新宿フィールドミュージアム」に参加し連携、協力を行なうことができました。



シンセサイザー現在・過去・未来セッショントーク
篠田 元一氏、氏家 克典氏、松武 秀紀氏、大浜 和史氏



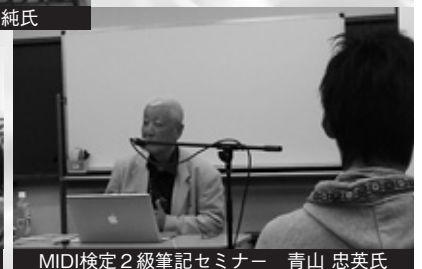
MIDI検定2級実技セミナー 國友 孝純氏



イベント「富田勲の世界」 富田 勲氏



MIDI検定1級セミナー 内藤 朗氏



MIDI検定2級筆記セミナー 青山 忠英氏

MIDI検定試験の改定について

平成24年度よりMIDI検定試験の内容改定

「MIDI検定」は、MIDI規格を理解し活用できる人材育成を目的として、平成11年より実施されている認定制度です。当初は、3級からスタートしましたが、2級筆記試験、実技試験、入門編の4級に加え、一昨年には1級を新たに新設し、今日までの総受験者は、3万名を超えています。MIDI検定は音楽制作を志すユーザーの拡大に、また、業務用通信カラオケや、着信メロディーなどMIDIの応用分野の拡がりに一定の役割を果たしたと捉えています。一方、この10数年間に於ける技術進歩に伴う音楽制作の進歩には目を見張るものがあり、今やMIDIに加えオーディオの知識が必須の状況となっています。このような時代変化に伴うMIDI認定制度のあり方をMIDI検定委員会では約2年間にわたり検討をしてまいりました。

その結果、認定制度の目的を「ミュージッククリエイターの育成」と新たに捉えなおし、幅広く一般書籍としての「ミュージッククリエイターハンドブック」を制作いたします。「ミュージッククリエイターハンドブック（MIDI検定公式ガイド）」（(株)ヤマハミュージックメディアより出版）は一般書籍として流通ルートにも乗りますので、幅広く一般顧客の目にも訴求できるかと捉えています。

また、本書をMIDI検定3級、2級、2級実技、1級試験に対応した、公式ガイドブックとして採用することによりMIDI検定の受験者増に繋げられるよう期待をしています。

以下に、その概要をご紹介します。

タイトル：「ミュージッククリエイターハンドブック（MIDI検定公式ガイド）」平成24年2月発売予定

【第1章：現代の音楽、楽器環境について】

時代とともに変化する音楽の聴き方、音楽制作の歴史、現代音楽制作のプロセス例など

【第2章：音楽制作ツールとセッティング】

コンピューターの基礎知識、オーディオインターフェースの知識、DAWの基礎知識、DAW以外のソフトウェアとプラグインソフトウェア、音楽制作にまつわるその他のハードウェア、ケーブルとコネクタの種類など

ミュージッククリエイターの祭典
SYNTHESIZER FESTA 2011
10月8日(土) 9日(日)
10th anniversary
入場無料
※大阪会場は9日のみ



【第3章：MIDI】

MIDIの基本知識、演奏に関するMIDIメッセージ、GM音源とスタンダードMIDIファイル、MIDIメッセージの構造、チャンネルボイス以外のMIDIメッセージ、同期関連のメッセージ、その他のRPなど

【第4章：音響学】

音の大きさ、音の高さ、音色、音程と音階、音律、デジタルオーディオの知識、シンセサイザーの知識など

【第5章：オーディオ】

録音、波形編集、ミキシング、エフェクトの知識、ミックスダウンの知識、マスタリングなど

【第6章：音楽理論とMIDIによる表現方法】

基礎的な音楽理論、コードの知識、MIDIデータにおける演奏表現、MIDI検定2級実技試験の概要とポイント、MIDI検定1級試験の概要とポイントなど

【第7章：リリースと著作権】

メディアへの固定、音楽配信の実際、著作権とは、音楽にまつわる著作権、様々な利用形態と実例など

MIDI規格国際標準化WG報告

MIDI国際標準化に関するIECメルボルン総会報告

MIDI規格国際標準化WG長 河口 幸裕

MIDI国差標準化の活動の一環として、昨秋に豪州メルボルンで開催された第75回IEC（国際電気標準会議）総会に出張して参りました。

◆MIDI国際標準化の進捗状況

2011年6月に発足したMIDI国差標準化ワーキンググループでは、業界規格であるMIDI規格を国際標準化すべく活動しています。中国等の新興諸国を含む世界各国が国家標準の整備や国際標準へのコミットメントを強める中、MIDI関連ビジネスの国際的な発展の障害となり得るリスクを未然に防ぐ事が目的です。

2011年9月にはMMAのTom White会長、Rick Cohen氏を東京に招いて議論を重ね、まずMIDI1.0の定義の基本部分をIECを通じて国際標準化する方針で合意しました。現在その方針に沿って国際標準文書のドラフト作成等の作業を進めています。また、MIDI国際標準化は経済産業省の平成23年度国際標準開発事業として認可され、国家プロジェクトとしてのお墨付きも得る事ができました。

◆IEC総会の概要と参加目的

ISO、ITUと並ぶ国際標準化機関であるIECは、80カ国以上が参加し技術分野ごとに90以上にのぼる専門委員会を持つ巨大な組織で、年に1度、全専門委員会の集まるGeneral Meetingを開催しています。IECに参加する各国が順次この総会を招聘する形となっており、今回は豪州の招聘により、大陸南東端に近い豪州第2の都市メルボルンのコンベンション&エキジビション・センターでの開催となりました。全体の会期は13日間にもわたり、総勢1500人以上がそれぞれに分科会やイベントに足を運びました。

IECについてはAMEI NEWS Vol.43の戸叶著作権・ソフト委員長によるシアトル総会レポートでも詳しく説明されているので、ぜひそちらもご参照ください。

今回は、AMEI/MMAからの状況報告と同時に、IECのベテランスタッフの方々のアドバイスを得ながら今後の具体的な段取りを明確にする事を目的として、MMAからはTom White会長、AMEIからは飛河MIDI規格委員長と河口が参加。MIDIに関連する専門委員会TC100（Technical Committee 100：Audio, video and multimedia systems and equipment）に関連するいくつかの会議に出席して参りました。

◆今後の展開

進行中のドラフト作成や関連する知的財産権の許諾手続きなどが順調に進めば、2012年5月に開催されるTC100の諮問グループ会議で標準化プロジェクトの開始承認を受けられるタイミングであり、まずそこを第1目標にMMAと連携して各種作業と課題解決を進める事となりました。

またTC100内のTA10（Technical Area 10：Multimedia e-publishing and e-book technology）の会議の場で、飛河委員長が「MIDI for e-books」と題してMIDI規格と電子書籍との連携の重要性の高まりにつきプレゼンテーションを行いました。国際舞台でMIDIの将来性をアピールし国際的なプレゼンスを高めて行く活動は、今後ますます重要になると思います。

◆最後に

大規模なIEC総会にあって、参加した期間も会議もごくごく一部に過ぎませんが、それでもUSBやEPUBなど強力なデファクト規格の国際標準化に対する動向が否応なく耳に飛び込んで来るなど、標準化競争の現実の一端に触れた思いです。

IEC自体は新しい技術を生み出す場ではありませんが、世界各地で生みだされた様々な技術を守りその国際普及を安定にサポートする場として、IECスタッフの皆さんの毅然とした物腰が非常に印象的でした。特にTC100は日本人スタッフが多くを占めており、今後の作業を考えると大変心強い思いです。

我々のMIDI規格もこの時流の当事者となるべく国際標準化の波に飛び込んで参ります。引き続きAMEI会員各位のご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。



オーストラリア メルボルン
コンベンションセンター外観



TA10会議でプレゼンをする飛河MIDI規格委員長と
IEC TC100/TA10 Technical Secretary：成井 良久氏
IEC TC100/TA10 Technical Area Manager：植村 八潮氏



TC 100会議で報告するTom White MMA会長

音楽電子出版部会セミナー開催報告

音楽電子出版部会 部会長 綱島 伸夫

音楽電子出版部会では、急拡大する電子出版市場における、音楽関連コンテンツビジネスの市場開拓を目的として、現在は部会メンバーによる市場の調査・研究・情報共有を進めております。

これらの調査・研究結果につきまして、音楽電子出版部会の活動内容のご紹介という目的も兼ねて、2011年11月10日のAMEI著作権・ソフト委員会の11月度定例会後に、「電子書籍セミナー」という形でご報告いたしました。具体的には、下記のとおり、『電子書籍ビジネス調査報告書2011』より課題検討』『電子書籍に関する調査結果について』の2点についてご報告しております。

1) 『電子書籍ビジネス調査報告書2011』より課題検討

綱島より、「電子書籍ビジネス調査報告書2011」（株式会社インプレスR&D発行）を参考に、電子書籍市場の規模、電子書籍販売ストアの最新動向、電子書籍関連の端末動向、電子書籍フォーマットの最新動向などについて、ご説明いたしました。

日本の電子書籍市場規模については、2010年は650億円となりましたが、2015年には2,000億円になると推計され



音楽電子出版部会 綱島 伸夫 部会長



シンコーミュージック・エンタテイメント 河合 正仁様

ています。また、数多くの電子書籍ストアがオープンし、電子ブックリーダーが次々と発売される中で、電子書籍フォーマットも多数存在している状況など、基本的な電子書籍市場の環境についてご紹介いたしました。

2) 『電子書籍に関する調査結果について』

部会にはオブザーバー参加されているシンコーミュージック・エンタテイメント 河合正仁様により、電子書籍に関するユーザーニーズ、市場動向、業界構造等に関する調査結果の報告がありました。また、既に自社で電子書籍ビジネスに取り組まれている状況も踏まえ、このビジネスの課題に関する考察の発表がありました。

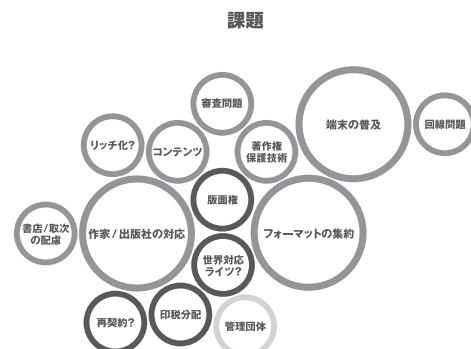
例えば、電子書籍市場は大きく拡大すると言われているものの、実は電子書籍に適した端末がまだ十分には普及していない状況であり、コンテンツの流通量もリアル書店のそれと比較すると大変少ないため、ユーザーが本当に欲しい商品が入手できない状況であること。また、電子書籍のフォーマットが乱立しているため、ユーザーにとっては利便性が悪く、また制作会社にとっても各フォーマットへの対応コストにより費用対効果が悪い、という課題などが紹介されました。

当部会では、今後も引き続き、このような調査研究を通じて、電子書籍市場におけるデジタル音楽や電子楽譜コンテンツ配信ビジネスを推進していく上での、問題点や課題を明らかにしてまいります。

Amazonなど海外勢の電子書籍サービスが近々に国内市場に参入し、市場が大きく変化することが予想されますが、これらの問題点や課題について、どのように対応していくべきか、当部会では、慎重かつ大至急取り組むべきテーマと認識しております。

これからも当部会の活動へのご支援をよろしくお願い致します。

電子書籍に関する調査結果



CDCおよびFluzoシステムの現状について

一般社団法人 著作権情報集中処理機構 (CDC) 千葉 浩

フィーチャーフォンからスマートフォンへの加速度的移行が進む中、音楽配信ビジネスを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。今までにフィーチャーフォンのサービスで獲得してきた優良顧客をどのようにしてスマートフォンのサービスにスムーズに移行させることができるのか、スマートフォンを含む新たなプラットフォームにおいてユーザーが何を求め、配信事業者（以下「CP」）はどのようなサービスを提供できるのかとすべきなのか、この変革期におけるCPの悩みは尽きることがないように思われます。

このような状況のもと、大量の品揃えをセールスポイントとする新規サービスや、スマートフォンからサービスを開始した新規のプレイヤーの音楽著作権処理にかかる支援に加え、今後も拡大するであろう音楽著作物を用いた映像配信への対応など、「著作物等の適正かつ円滑な利用を促進し、コンテンツ流通の支援を行う」というCDCの役割が益々重要になり、そのニーズも更に高まってきていると認識しております。

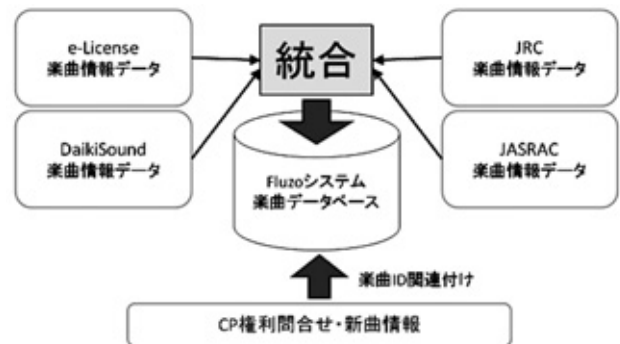
そのようなCP様のニーズに応えるべく、CDCでは従来型ともいえるFP（フィンガープリント）検索によるCDC-IDの特定業務に加え、作品タイトル・アーティスト名等のメタ情報によるCDC-ID特定業務も拡充して参りました。

更には、2011年12月にはサーバー組み込みモジュール「Fluzo-S」の開発を完了し、投稿系サービス等のサーバー内の音楽ファイルをFP検索しFluzoのDBとマッチングすることにより、違法にアップロードされたと思われる音楽ファイルの検知を行うことも可能となりました。

CDCの基幹システムFluzo（フルゾ）の直近2011年10月の報告期（2011年7月～9月利用実績）のデータ処理件数は9,200万データ行に達しました。次回処理時の2012年1月期においては総処理件数が1億データ行を超えるであろうと予測され、更なるシステム処理能力の向上が求められています。

また、ご利用CP様の要望に応え、2012年4月のサービスインを目指し、最新の環境（Windows7、IE8等）での稼働をサポートできるようシステム開発業者との間で日々検討を進めております。

CDCは、音楽配信事業における著作権処理業務を支援することによるコンテンツビジネスの促進に寄与すべく更なる活動を進めて参りますので、AMEI会員の皆様方におかれましては、引き続きましてCDCの活動にご支援ご協力を賜りますよう深くお願い申し上げます。



公益法人制度改革への対応について

一般社団法人への移行に関する進捗状況のご報告

当協会は今年度に経済産業省管轄下の特例民法法人から一般社団法人への移行を目指し今年度の定時社員総会におきまして、定款の変更の案他の承認を受けました。その後、内閣府公益認定等委員会に移行認可の為の電子申請手続きを行ってまいりました。

平成21年の統計によりますと、国の所管の特例民法法人は6,493団体あり平成23年11月末時点で移行認定及び移行認可申請した団体が2,595（40%）、答申が出た団体が1,344団体と、全体の20%が移行認定及び移行認可が完了しています。移行期間も残すところあと2年となり今年後半から来年が申請のピークとなる事が予想されています。

当協会の進捗状況を以下にご報告させていただきます。

8月5日に内閣府へ一般社団への移行申請をいたしました。その後、10月2日に内閣府より定款変更の指導を受け、指導内容に沿った定款の若干の変更について会員の皆様にお諮りし10月7日に了承をいただきました。それに伴い、その他申請に必要な提出資料についても内閣府の指摘事項についての修正を完了し、10月27日に公益認定等委員会より認可相当である旨の答申が出され、10月28日内閣府公益認定等委員会のホームページ上に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法

律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第117条に規定する認可の基準に適合すると認めるのが相当である。

との答申書が掲載されました。

https://www.koeki-info.go.jp/pictis_portal/koeki/pictis_portal/common/portal.html（全国の新着情報より）

尚、移行登記の日程につきましては、早期に認可相当の答申が出された為、期の途中でなく平成24年4月1日に登記の日を調整する事が可能となりました。本来4月1日は、日曜日であります

ありますが移行登記を希望する団体が多いとの事で、内閣府より4月1日に登記ができる特別措置がとられることとなりましたので、当協会も平成24年4月1日に旧法人の解散登記と新法人の設立登記を予定しています。従いまして、平成24年3月の理事会につきましては現在の特例民法法人として理事会を開催することとなります。

また、移行登記後14日以内に、旧主務官庁の経済産業省および内閣府へ登記事項証明書を提出し、3ヶ月以内に公益目的財産額の確定に係る必要書類を提出することになります。

内閣府への申請状況 (平成23年11月30日現在)				
	申請件数	審査中	答申	取下げ
移行認定	1521	558	879	84
移行認可	1074	573	465	36
新規認定	115	27	70	18

移行認定：特例民法法人から公益法人への移行
移行認可：特例民法法人から一般法人への移行
新規認定：新たに設立した一般法人から公益法人への移行

この度の東日本大震災により被災された方々に、
心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

会 員 名 簿

50音順 2011年10月31日現在

あ Apple Japan合同会社	い - 株式会社インターネット - インフォコム株式会社	え - 株式会社エクシング - 株式会社エムティーアイ - 株式会社エンターブレイン	お 株式会社音響総合研究所	か - カシオ計算機株式会社 - 株式会社河合楽器製作所	き 株式会社キューブ	く - クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 - クリムゾンテクノロジー株式会社	こ 株式会社コルグ	さ - 株式会社サイバード - 株式会社サミーネットワークス	し - 株式会社シーミュージック - JVCネットワークス株式会社 - 島村楽器株式会社	学校法人尚美学園 株式会社シンクパワー す - 株式会社ズーム - 株式会社鈴木楽器製作所 - 株式会社スリック せ - セイコーインスツル株式会社 - 株式会社セガ た - 株式会社第一興商 - 株式会社タムラ製作所 て - ティアック株式会社 - 株式会社ディーアンドエムホールディングス プロフェッショナル・ビジネス・カンパニー と - 東映ビデオ株式会社 - 株式会社ドワンゴ に - 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・ 日本工学院八王子専門学校 - 日本シンセサイザープログラマー協会 は - パイオニア株式会社 - 株式会社ハドン - パナソニック モバイル コミュニケーションズ 株式会社	ふ - 株式会社フェイス - 株式会社フェイス・ワンダワークス - 株式会社フュートレック へ - ベスタクス株式会社 み - ミュージックノート株式会社 や - ヤマハ株式会社 - 財団法人ヤマハ音楽振興会 - ヤマハミュージックトレーディング株式会社 - 株式会社ヤマハミュージックメディア ら - 株式会社ラグナヒルズ り - 株式会社リットーミュージック - 株式会社リムショット ろ - ローランド株式会社 〈正会員会社49社〉
---	---	--	---	---	--	--	---	---	--	--	--

*** 賛助会員**

- 中音公司（中華人民共和国）
 - 株式会社博秀工藝
 - 株式会社ミュージックトレード社
- 〈賛助会員会社3社〉

MIDI検定1級試験実施のお知らせ

コンピュータミュージックの伝道者ライセンス **MIDI LICENSE**

平成23年度

「MIDI検定」

第3回
MIDI検定1級試験

[試験期間] 2012.1/20(金)～1/30(月)

MIDI検定2級実技試験実施のお知らせ

第13回
MIDI検定2級実技試験

2012.2/18(土)・2/19(日)..... 東京会場
2012.2/25(土)・2/26(日)..... 大阪会場



January 19-22
2012 Anaheim, California

AMEI NEWS Vol.46 / 2011.12.22
 社団法人音楽電子事業協会 機関誌
 発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イービル4F
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
 発行人：岩崎修三
 編集人：石黒士郎（広報委員会）
 編集協力：株式会社 博秀工藝
 ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>